

磐城時報

編者 石城郡平町 印刷 磐城時報社
社址 石城郡平町 電話 一四四
代印 磐城時報社
廣告料 一行四字 金五十銭
日刊 (日曜、祭日、休日、休刊)

教育費削減のため 學級を減らす計画

緊縮豫算編成に苦しみ 平町當局の苦しみ

平町では緊縮方針に依つて明年三百四十名、女三百七十三名、度豫算を作成するに當り平町歳合計七百十三名で昨年の六百三出入豫算の三分の一を占める教十九名に比し六十四名の増加を育費に於て削減を加へるより外示して居りこれに教育上一學級に道がなく、此の削減の方法をの收容人員は五十名内外が最も實行するために學級を減らす計好成绩であると言はれてゐる際劃をたて目下教育関係者とこれに此の學級減は相當問題になるぞれ研究中であるが現在七十名ものと見られてゐる。

東京通話

降旗代議士

民政黨總務前鐵道政務官代議士降旗元太郎(六三)氏は越後鐵道事件で瀆職の嫌疑をうけ取調をうけてゐたが五日夜夜收容された。

同盟罷業

東京市電並に東京市内園タク従業員は、ボートス二割減並に昇給一期中止に反對し六日始發車から同盟罷業を行つた。

春から開校しても教員がある事になるので、此の學級減案を計劃したものらしいが、平町に於ける就學児童は益々増加の傾本縣穀物検査所支所では十一月向にあり明年度就學児童数は月未から石城郡勿來町を筆頭に

水害復舊陳情

伏見町長出縣

平、飯野、好間、平窪一町三ヶ村水利組合では過般來の數次の水害復舊費に對する縣費補助方申請中のところ未だ徹底しないので議會召集中を機としてこれ運動のため伏見町長は五日出縣した。

警城炭礦講演

郡内郷村警城炭礦では八日午後一時から同村高坂昭和館に於て伊東南州氏を招き有益なる講演會を開催する筈。

産米検査

米質は不良

入つてから幾分上向となり二十七圓四十銭の相場あり之を前に比すれば四十銭の高値を示してゐる。

藤田校展覽會

田町藤田女學校では来る十一日十二日の兩日毛糸編製作品の展覽會即賣會を催はすと。

消防檢閲

平署管内 警察署では火災期を前に夫々管内の秋期消防檢閲をなす事となつたが日時左の如し。
▲八日 飯野、好間、鹿島、下小川、飯野、好間、鹿島、十三日 神谷、夏井、十六日 高久、警崎

訴訟に勝つた湯本町

きのよ役場で祝賀會 地下採掘問題解決

石城郡湯本町附近を炭礦區とす表したる地下採掘權を去る大正十年仙臺礦山監督局に出願却下となつたのを不服として同監督局を相手取り行政訴訟を提起し八ヶ年津田沼飛行場鈴木飛行士は宮城に亘つて係争中の吉本真一氏に縣古川町から津田沼に向つて愛對する判決言ひ渡しは四日午後機を操縦して四日午前十一時半東京行政裁判所に於て行はれたその結果は原告吉本氏の敗訴に歸し仙臺監督局の勝訴になつた右は湯本町に取つて存亡に關する事件だつたので同町も從つて参加人として訴訟に加はり仙臺監督局と共に吉本氏に拮抗してゐたもので仙臺監督局並に湯本町では勝訴と聞いたので喜び時節柄ではあるが祝賀會を開くことになり五日午後二時同町長等役場に集まり祝賀の意を

民間飛行機 小名濱に着陸

高坂小學校校長は語る。

荒先生小傳

平町四軒

活動寫眞の影響について 平署から小學校に通告

内郷少年の犯罪に鑑み

活動寫眞の悪影響をうけ活動熱が當日は第二師團司令部附安田に浮かされ石城郡内郷村高坂小少將も査閲する筈である。

水仕前借倒し

石城

額賀主任 水戸に轉任

今度平署官吏派出所主幹から事業課課長となつた額賀廣次氏の夫人は觀世流謡曲の大の癡り屋で出かけては新進の鳥誠一氏を師匠に引取り、美音を發揮したものだ。但しその聲で「晨を告ぐる」様な事はなく至つて夫唱婦和の實を擧げてると同人間の噂である。

警高女校で 木村氏講演

警城高等女學校では四日午後一時から木村代議士を招き歐米視察の講演會を開いた。

▲稻泥棒捕る 石城郡好間村北好間渡邊米松(六〇)は同村内阿部某の田圃に積重ねてあつた稻束五十把價格十圓を竊取した事發覺五日平署に檢舉さる

志士出でよ

國民よ、奮起せよ！情弱を捨て、虚榮の假面をかき捨て、眞心からの素裸で奮起せよ！

吾人の責任や實に重大也矣、諸君よ、大きく目を開け、諸君はそも何をみる？國難來る！國難來る！
心の隙は形態に伴ふ、近來著しく變更した街頭、その上をゆく男女を見よ、更に蓄音器ラヂオ、或ひはカフエーから洩れる所謂亡國歌なる物に耳を傾けよ、そしてその害の甚大なるを思へ、天真爛漫未だ人生の汚濁に觸れず温かき親の下に健かに伸び行く兒童の口から、かの亡國歌を聞き、心ある者無然として國家を思ふ時、寒心に堪えざりしものあるを思ふ。

外來思想の過激なるあり、國家に寂して亡國の憂あり、諸君よ「ローマは一日にしてならず」と「ローマよく盛んなりしが遂に亡びたり」と青史は語る、ローマより長く、よく正しく、より健實に積重ねきた我日本の國體を思へ、外國に比類なき強き美しき國體、自他共に許してしめてゐた我々は愕然として國家の前途に一掃の暗翳を見た、畏くも上 陛下は天下に絶を垂れ給ひし事幾度ぞ！諸君よ！緊めろのだ！一木一石一塊の土一掬の水にも凋落の影が射し初めたかと思はれる、このまゝゆけばどうなる？
「ミラ探りがミラになつた」諸君も何を意味する、新らしい知識を求め求め翔り過ぎて却つて幽明の境を失つてしまつた。諸君よ！よく目を開け、諸君は其處に何を眺め、何を聴く、靜かに默思だ！沈黙だ！我々はあくまで、猪突的な戦法を回避しやう、心靜かになつてゆく恐ろしき程透徹な心眼だ、その時如何に現代の世潮安相が映るか？

原町通信

民政黨 相馬部會

民政黨相馬部會は既報の如く去る三日中村町に總會を開き役員改選並に左の決議案を可決し本部より坂東幸太郎菊地茂の兩氏派遣され代議士菅村太事、加藤宗平、佐藤富十郎、氏家清の諸氏加はり政談演說會に移りたるが三、四の兩日中村、鹿島、原町、小高の各町に於て演說會を開きたるが何れも盛會であつた。

- 一、吾人は極力口内閣を支持し以て其政策の實現を期す
一、立憲の正道に則り衆議院の解決を期す
一、金解禁を斷行し以て財界の安定を期す
一、失業者救済を期す
一、公私經濟の整理緊縮を圖り經濟界の復興を期す
一、教化總動員を圖り國民精神の作興を期す
一、義務教育費國庫負擔の増額を期す
一、米價並に肥料價格の調節機關の設置を期す
一、自作農創設の徹底的施設を期す
一、中小工業の振興を期す
一、縣財政整理を執行し縣民負擔の軽減を期す
一、自轉車稅の撤廢を期す
一、荷車稅の撤廢を期す
一、災害土木工事の速進を期す
一、縣道河川の整理改廢を期す
一、自動車道路の速成を期す
一、松川浦瀧港修築の速成を期す

大倉の殺人騒ぎ

相馬郡大須村大字大倉高橋長五郎(五〇)は去月十八日同村鈴木今朝吉方の婚禮に長持擔ぎに雇はれ馳走酒に泥酔し其歸途眞野川上流の十余丈の崖より墜落慘死したる事は既報の如くなるが其死因に怪しき点あり他殺説さへ傳へられたが、當時死体を臨檢したる新館村草野垣谷醫師の談に依れば確かに誤つて墜落慘死したるとの檢案に依り死体は其儘埋葬したるも昨今又々他殺説濃厚となりたるを以て四日福島地方裁判所より立石檢察官中村書記を從へ所轄川俣警察署に出張し關係者數名を召喚取調中なるが茲兩日中には黒白が判明するであらう。

江戸前季節 烏松 鰻 魚 料理

平町南町平館隣り 電話二二四番

少年雄辯大會

相馬農學學校校友會主催となり又、相少年雄辯大會を八日午前九時から同校講堂に開催す。

原町組頭會

原町警察署管内消防組頭會は八日同署樓上に開會し九日より開催す。火防宣傳活動寫眞會の件に就き協議す。

高等農民學校開設

縣立相馬農學學校内の高等農民學校にては今回郡農會依託生三十名に對し明年一月より開講する事に決定した。

腸胃 毒核 専門 皮膚病 院 醫科 (七〇一電話)

商店向貸家 (家賃十七圓) 電話、水道附 平町新川町三十番地

中野勇吉 電話一三三番

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒 西村屋藥局

貸家案内 加藤營業所

木村代議士 歸朝歡迎會 萬里の波濤を蹴つて獨乙に開かれた萬國議院商會に列席した木村代議士は去月下旬無事歸朝されました。

液体空氣會社製(酸素含有量九九.五%) 吸入用酸素、酸素吸入器

正確体温器、寒暖計 特約店 平町南町 大和田醫院

耳鼻咽喉科 氣管食道科 病室完備：自炊の便あり

新妻眼科醫院 入院應需 看護婦一名至急募集

BISHINGAN 子宮美神文 代理店 平町五丁目 山野邊藥局

御花嫁御祝着特賣 金解禁と新安値 全商品の宣傳價

三七五御祝 十二月一日ヨリ 三井吳服店

印刷物には加納活版所